

住民の広場 今年度は、笹野台地域ケアプラザをご紹介します。
今回は、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」です。

ケアマネジャー（介護支援専門員）とは、介護の専門職で正式名は「**介護支援専門員**」といいます。介護保険サービスを利用する方からの相談を受け、利用者様や家族様の希望や心身の状態を考慮して、在宅や施設での適切なサービス利用を提案し、ケアプラン（介護サービス計画）を立てたり、関係機関との連絡調整を行うことが仕事です。

笹野台地域ケアプラザには、5名のケアマネジャーがいます。今後とも皆様の生活に介護保険サービスを役立てていただけるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



ライトセンター施設見学 2月12日（火） 笹野台連合自治会、笹野台地区社会福祉協議会



笹野台地域ケアプラザの協力で「ライトセンター施設見学」が行われました。笹野台地域から大田連合会長・近藤社協会長・自治会長と一般の方24名（男性：9名、女性：15名）が施設見学・体験をしてきました。ライトセンターとは神奈川県内の視覚障害者を対象に総合的なサービスを提供する施設として神奈川県が設置し日本赤十字社神奈川県支部が受託運営している施設です。視覚障害の方に点字・録音図書製作貸し出し、視覚障害者およびその家族の各種相談、歩行・パソコン・点字訓練等が受けられると共にボランティア育成事業も行われています。施設内には体育館・温水プール・卓球室・ジョギングコース等のスポーツ設備も充実しています。地域や駅などで視覚障害者誘導の仕方等良い体験ができました。

きらっとあさひ福祉大会 2月16日（土） 旭公会堂



表彰式典では平成30年度旭区社会福祉功労表彰が有り、地域福祉功労：22名、寄付金品功労：2団体・2名、特別功労4名の皆さんの表彰が行われました。

基調講演は、和田敏明氏（ルーテル学院大学名誉教授）による「地域共生社会の実現と地域での見守り」でした。事例報告では、「若葉台地区で挑む“つながり”づくり」が発表されました。

地区の主な行事（～6月）

4月 14日（日）	連合自治会・社協定期総会	笹野台会館	6月 2日（日）	緑地・北公園美化清掃活動	緑地・北公園
5月 6日（月・祝）	連合・社協合同研修会	緑地公園	6月 16日（日）	第3回三世代輪投げ大会	笹野台小
5月 12日（日）	成人女子ソフトボール大会	北公園	6月 23日（日）	笹野台タウンミーティング	笹野台会館
5月 19日（日）	成人男子ソフトボール大会	希望が丘中	6月 30日（日）	グランドゴルフ大会	北公園

編集後記 この一年も皆さまのご協力のもと地域活動、行事を無事に終わり、感謝いたします。今年度は福祉講演会とささのだいニュースの「住民の広場」で笹野台地域ケアプラザを取り上げました。ケアプラザは、日常生活の悩みや疑問などの相談、仲間づくり、健康づくりの活動の支援等、元気で安心して暮らせる笹野台の町づくり最強の応援団です。これからも地域の活動情報やお役立ち情報を発信していきます。



太田 江口 海野 荒木 安藤



どんど焼き 1月13日（日） 笹野台地区社会福祉協議会

夜来の雨も上がり晴れ渡った空のもと恒例の年頭行事「どんど焼き」が北公園で開催されました。今年も大勢の地域の皆さんが新年のお飾りを持ってこられました。

前日に準備した薪山に各子供会から選ばれた年男・年女の子供たちが点火しました。穏やかに晴れ渡った冬空に白い煙とともに真っ赤な炎が立ち上がり、どっと沸きあがった歓声と太鼓の音に場内がおおわれました。

甘酒・トン汁にグランドを半周する長い列ができました。10か所のかまどでは自治会長・評議員の皆さんと一緒に団子を焼く子供たちのにぎやかな声はずみ、楽しいひと時を過ごしました。今年はポップコーンも出店し彩りを添えました。



新年賀詞交歓会 1月20日（日） 笹野台地区連合自治会



平成31年笹野台地区賀詞交歓会が、笹野台地域ケアプラザで午前11時から開催されました。

下田旭区長、山岸旭区連会会長、市川旭警察署長、川村旭消防署長をはじめ、近隣の連合自治会会長、行政関係者、学校関係者、笹野台地区各団体代表者、議員の皆さんなど、昨年同様多数の参加者により盛大に行われました。参加者の皆さんは、和やかな雰囲気の中で楽しいひと時を過ごされました。

防災研修会 2月17日（日） 笹野台地区連合自治会

午前9時過ぎに市水道局矢指配水池に行き、市水道局の職員さんから矢指配水池の施設内容と役割、水道事業の概要、災害時の給水などについて説明を受けました。横浜市水道局が保有している給水車は19台なので、大震災時は医療関係等への給水が重点になります。一般への給水は困難なため、各家庭で1人1日3ℓを最低でも3日分備蓄してほしいとのことです。大震災時、矢指配水池に水色の「給水中」の旗が掲示されたら、実演している仮設給水栓で給水が受けられるので取りに来てほしいとのことでした。この後、笹野台地域ケアプラザに移動して、午前10時過ぎから今宿消防出張所の竹内所長から大震災時の対応等について心構えや備えておく必要のあるものなどの話を聞きました。今回の研修には笹野台小学校地域防災拠点運営員96名が参加され、皆さん熱心に聞いて質問されていました。





平成30年度 連合・社協 活動振り返り

笹野台新報社社長 太田 欽也

平成30年度は、地震、豪雨水害、台風被害など自然災害が多発した年でした。笹野台地区では幸いに人的被害はありませんでしたが、台風12号の影響で夏祭り・盆踊り大会は中止を余儀なくされましたし、台風24号の影響で体育祭は競技種目を半分に Rowe 行われました。また、記録的猛暑となった8月の区大会競技は全て中止になるなど行事関係に大きな影響がありました。

さて、笹野台新報社は今年度も地域情報誌「ささのだいニュース」を年4回発行しています。今年度の特集は「笹野台地域ケアプラザ」の業務内容を取り上げました。笹野台地域ケアプラザはサークル活動の場のみならず、生活支援等の相談に応じてくれる組織ですから活用していただきたいと思います。また、ホームページ「ささのだい」はタイムリーに更新していますし、連合と社協の事業計画、各団体の活動内容や笹野台地区の歴史など、地域の多岐にわたる事柄を載せていますので是非ご覧いただきたいと思います。

今後とも地域連携の一助となるよう努めますので、皆様方からの情報をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。



七輪火おこし体験学習 2月19日(火)、20日(水)、21日(木) 笹野台小学校

笹野台小学校3年生の「七輪火おこし体験学習」が各日の午前9時過ぎから行われました。

地域の世話役4名が付き添って七輪の由来や構造を説明して、災害時に電気やガスが止まった時に使える道具でもあることを話しました。今年は長屋門での「きな粉」作りが出来なかったため、各自家から色々な物を持参しています。各グループともマッチを擦って新聞に火をつけることがなかなかできず悪戦苦闘しましたが、火がおきてお餅が焼けて膨らむと歓声があちこちであがりました。

児童達の感想は、火をおこすのは難しかったけど炭で焼いたお餅は家で食べるお餅よりも美味しかったとのことでした。



第3回拡大リーダー会議 2月11日(月) 笹野台地区ささえあい連絡会

平成30年度に推進した6テーマについて、各リーダーがまとめた(1)30年度の取り組み予定、(2)30年度の振り返り、(3)2019年度の取り組み予定を座長が説明し、全員で確認しました。その後、自治会長から各自治会での①進み具合、②上手に行った点、③改善すべき点につき説明を行いました。

今回は、メンバー全体での意見交換に重点を置き、支援チーム・顧問からもアドバイスがあり、有意義な会合となりました。2019年度の方針も明確になり、4月から新しいメンバーも参加して、各自治会で「それぞれの自治会に合った進め方」で推進していきます。

